

コウナゴ漁期前分布調査結果(平成29年3月13日調査)

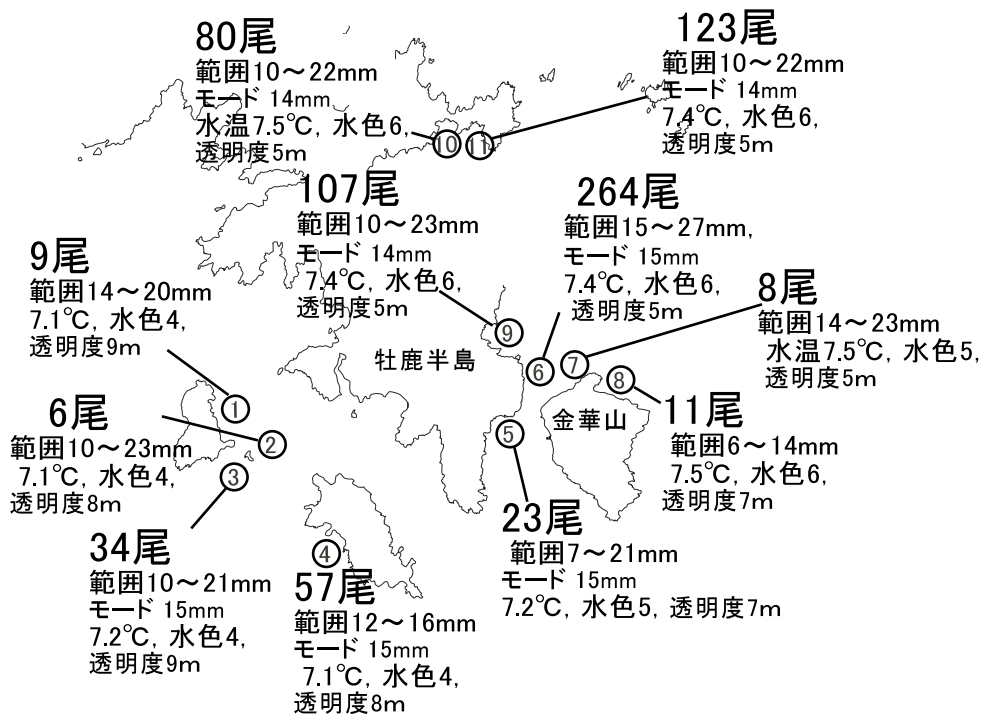


図1 牡鹿半島周辺海域分布調査結果(開洋)

○は調査位置調査点番号
一曳網あたり採集尾数と
体長範囲、体長モード、
表面水温、水色

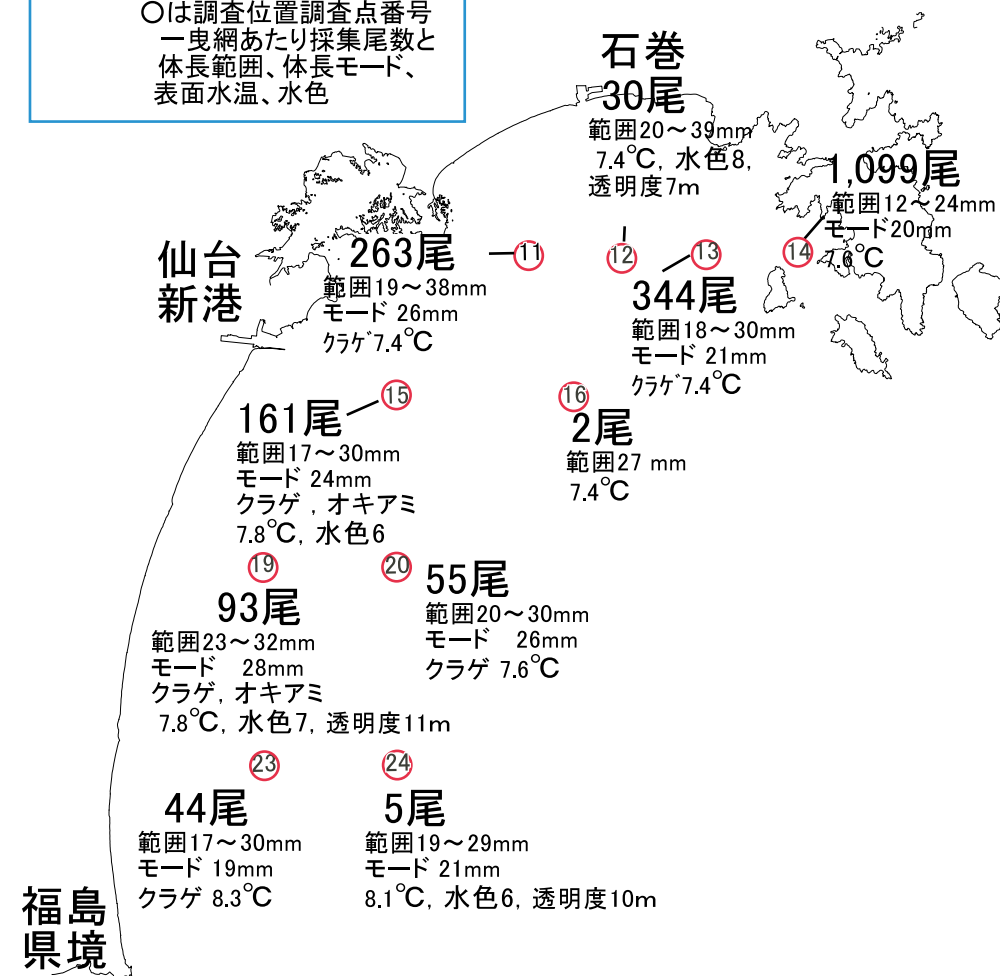


図2 仙台湾分布調査結果(みやしお)

○は調査位置と調査点番号
一曳網(10分曳き)あたりの採集尾数
全長範囲、全長モード、主な混獲物、表面水温、
水色、透明度

平成29年3月13日に県漁業調査指導船「みやしお」(19トン)及び「開洋」(19トン)により、コウナゴ漁場前の分布調査を実施しました。概要は以下のとおりです。

調査方法

- 牡鹿半島周辺海域
図1に示す11調査点において、「開洋」(19トン)による、小型中層曳網を用いた表層10分曳網を実施した。
- 仙台湾
図2に示す10調査点において、「みやしお」(19トン)による、網口開口板を使用した中層曳網10分曳網(水深10m~15m層)を実施した。

調査結果

- 牡鹿半島周辺海域
・全調査点の平均採集数は66尾となり、昨年(10尾)を上回り、過去10年(H16~H27)の平均値(46尾)も上回った。
・体長範囲は6~27mmでモード(最頻値)は14mmとなり、昨年同期(20mm)と比較して小さめであった。
・表面水温は7.1~7.5°Cで昨年並み、水色は4~6m、透明度は7~11mであった(図1)。
- 仙台湾
・全調査点の平均採集数は210尾となり、昨年(3,601尾)を下回り、過去10年(H23年を除く)の平均値(3,543尾)も下回った。
・体長範囲は12mm~39mmで、モード(最頻値)は24mmとなり、昨年同期(28mm)と比較して小さめであった。
・表面水温は7.4°C~8.3°Cで昨年並み、水色は6~8、透明度は7~11mであった(図2)。

以上の結果(分布状況、魚体サイズ)から、今漁期も昨年同様、石巻湾を中心として開始されると考えられる。